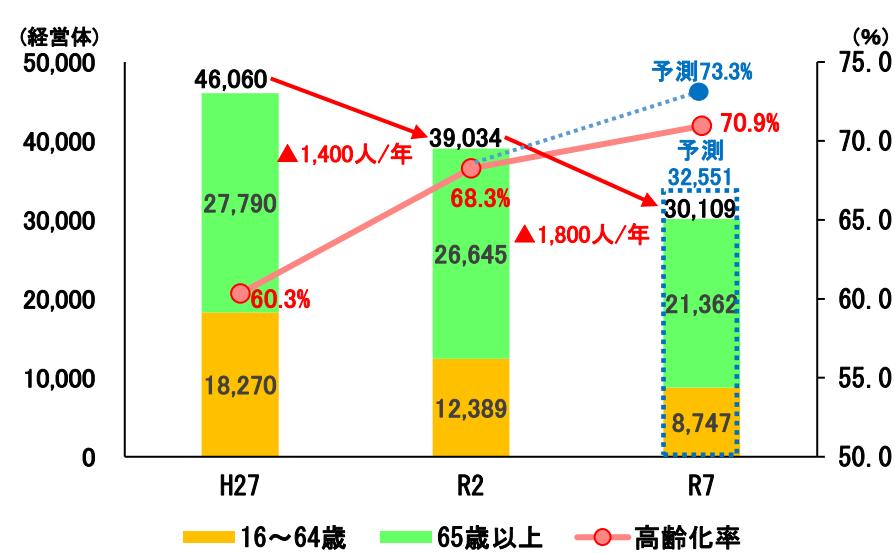


# 2025年農林業センサスの調査結果（概数値）について

## ① 基幹的農業従事者と高齢化

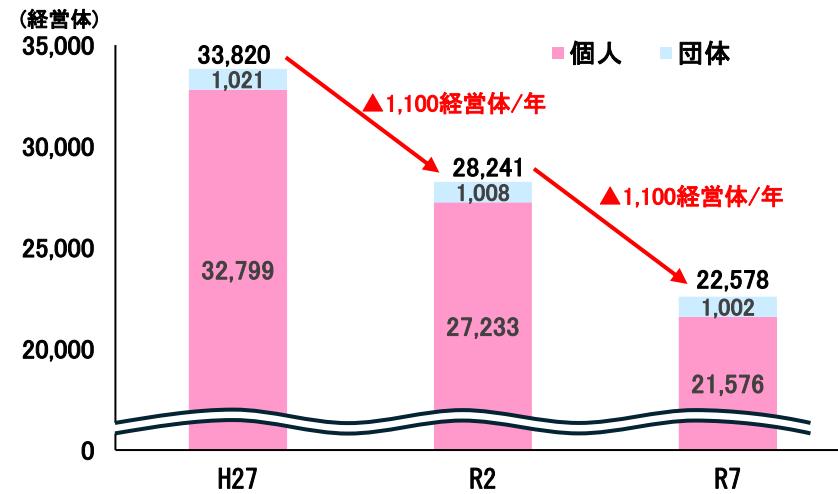
■ 基幹的農業従事者数と高齢化率(65歳以上)



○ 基幹的農業従事者は、22.9% (約9千人、1年で1,800人) 減少  
○ 高齢者割合は70.9%で、過去最高を更新

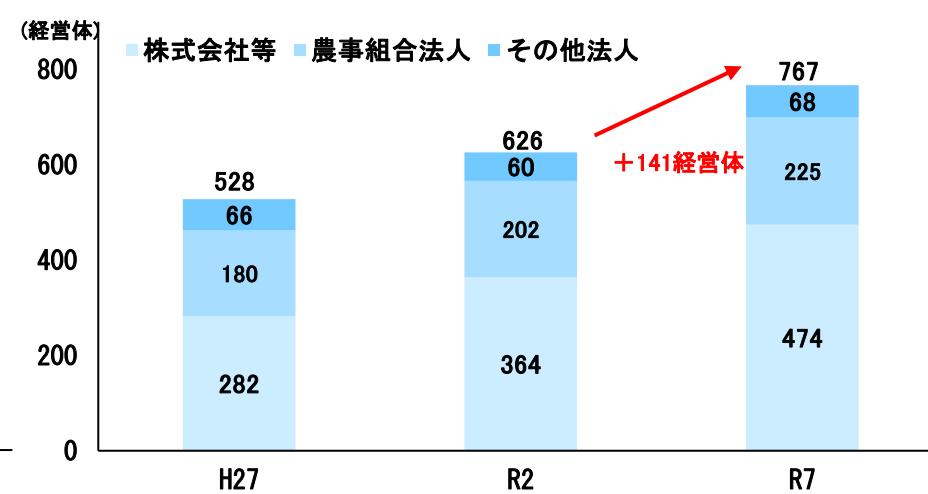
## ② 農業経営体と法人化

■ 農業経営体数



○ 個人経営体は、20.9% (約5,700経営体、1年で1,100経営体) 減少  
○ 団体経営体は、微減

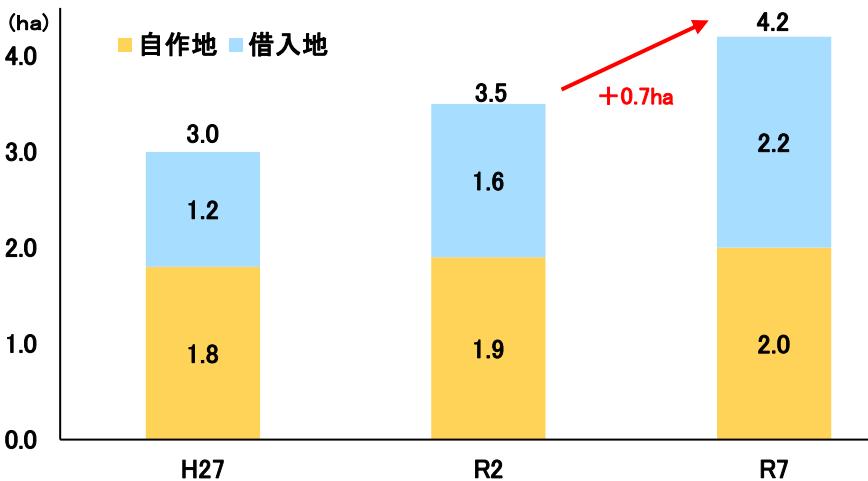
■ 法人化している農業経営体数



○ 法人経営体は、23% (141経営体、1年間で28経営体) 増加  
○ 株式会社等の会社法人が増加の大部分を占める

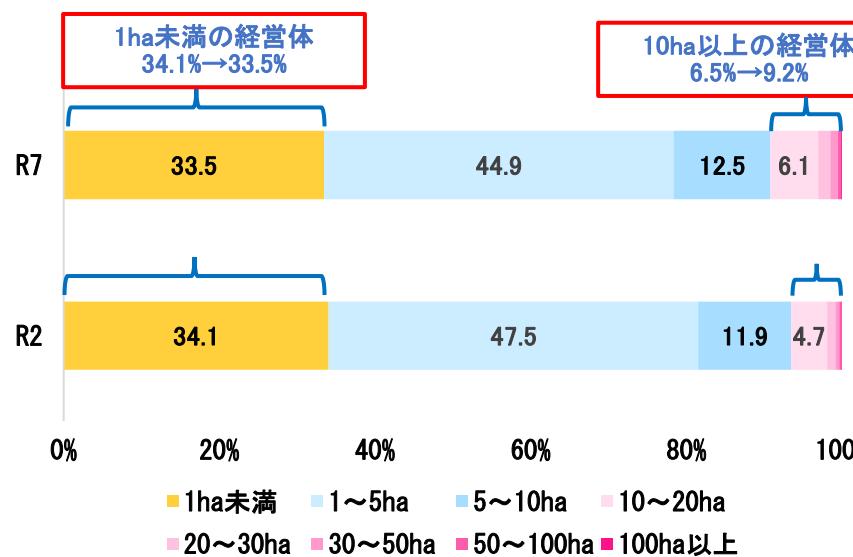
## ③ 経営耕地面積

■ 1農業経営体当たりの経営耕地面積



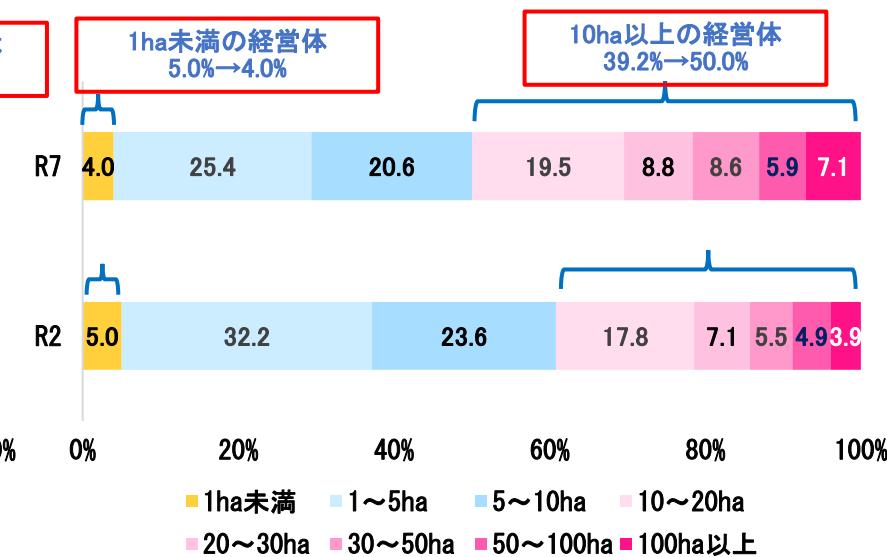
○ 1農業経営体当たりの経営耕地面積は 3.5ha→4.2haに拡大  
○ 借入地が規模拡大の大部分を占める  
※ 経営耕地面積は94,837haと、5年間で3,133ha (3.2%) 減少

■ 経営耕地面積規模別経営体割合(実数)



○ 10ha以上の経営体の割合は、5年間で 6.5%→ 9.2%に増加  
○ 1ha未満の経営体の割合は、5年間で 34.1%→33.5%に減少

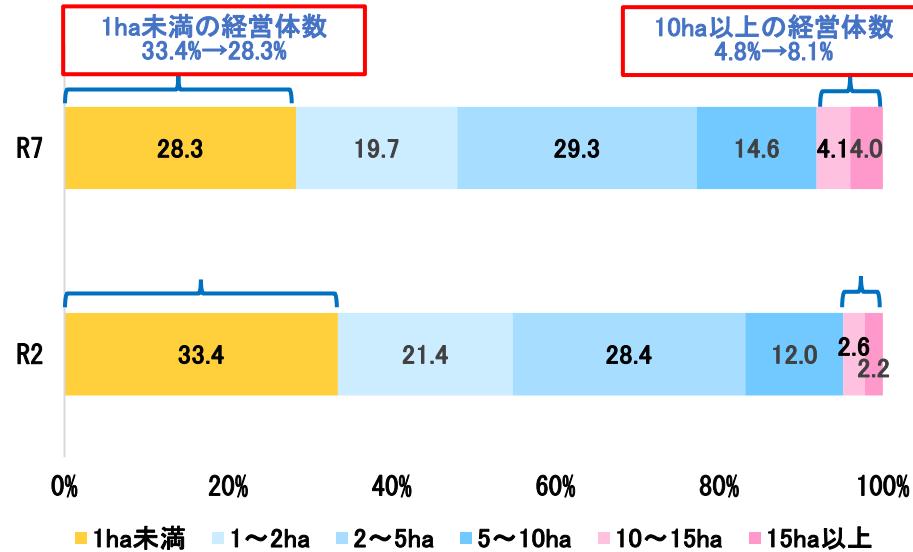
■ 経営耕地面積規模別集積割合(シェア)



○ 10ha以上の経営体に、5割の経営耕地が集積している状況  
○ 1ha未満の経営体の経営耕地は4%に留まる

#### ④ 水稲作付規模別経営体

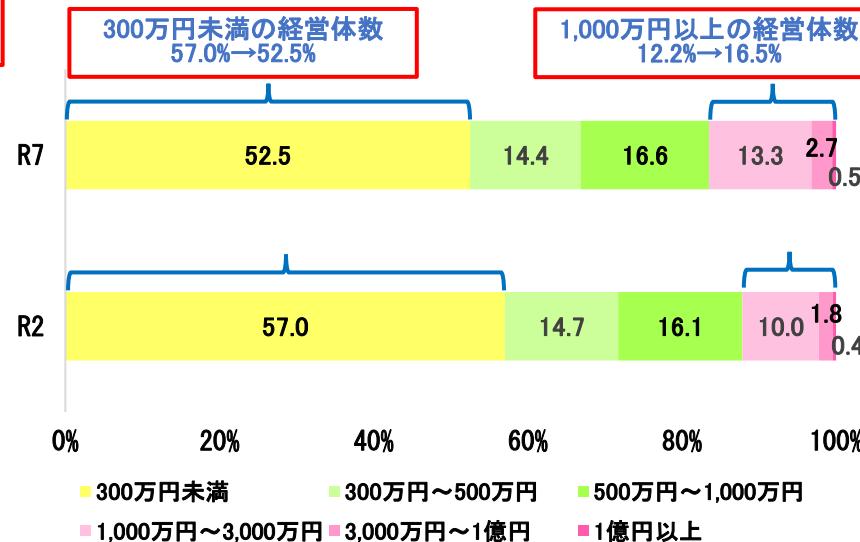
■水稲作付面積規模別経営体割合(実数)



- 水稲作付面積10ha以上の経営体の割合は、4.8%→8.1%に増加
- 水稲作付面積1ha未満の経営体の割合は、33.4%→28.3%に減少

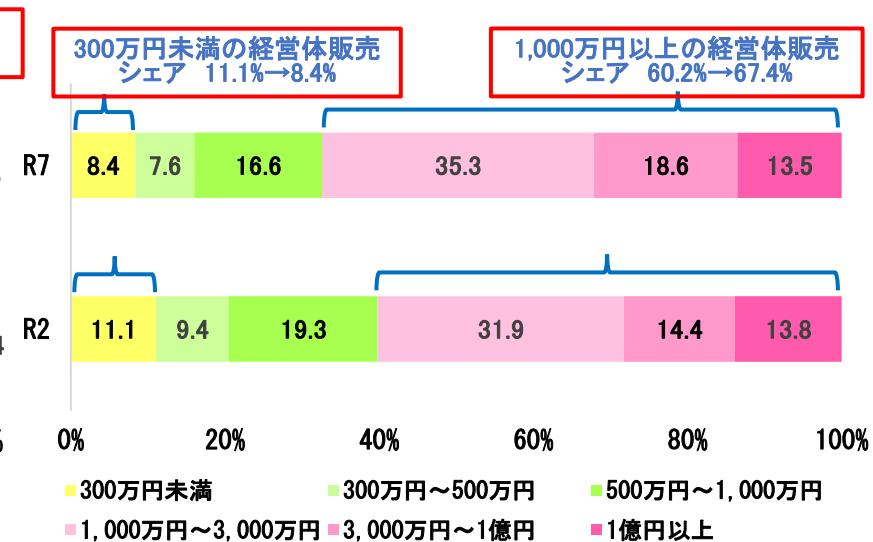
#### ⑤ 販売金額

■販売金額規模別経営体割合(実数)



- 販売金額1,000万円以上の経営体の割合は、12.2→16.5%に増加
- 販売金額300万円未満の経営体の割合が52.5%と最多

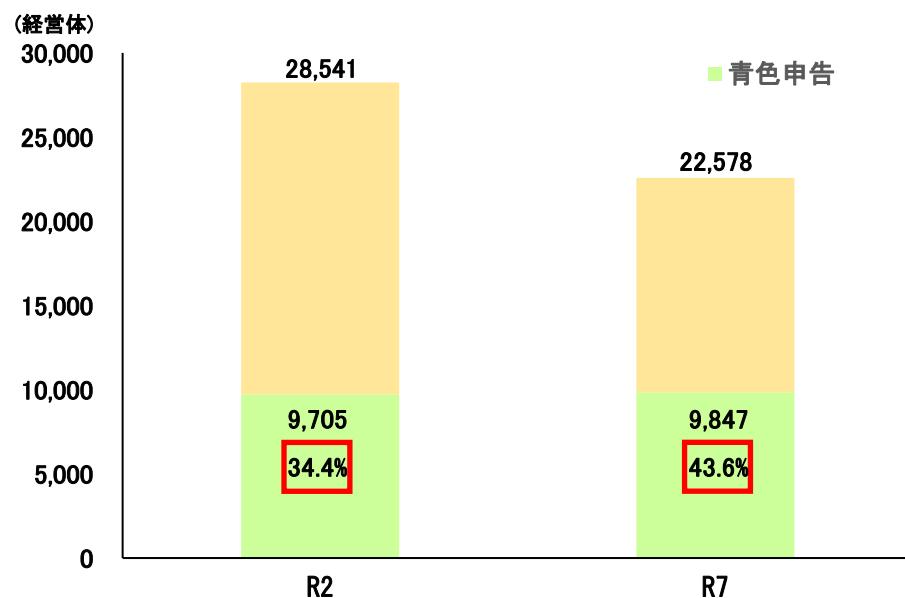
■販売金額規模別販売総額(推計)割合(シェア)



- 総販売額(推計)に占める販売金額1,000万円以上の経営体の販売額シェアは、60.2%→67.4%に増加
- 販売金額300万円未満の経営体の販売額シェアは、11.1%→8.4%に減少

#### ⑥ 青色申告の状況

■青色申告を行っている農業経営体数



- 青色申告を行っている農業経営体割合は、34.4%→43.6%に増加

#### 2025年農林業センサスのポイント

- 基幹的農業従事者の減少は加速。新規就農者は着実に増加しているが(R6:383人→R7:405人)、基幹的農業従事者の減少分をカバーするには至っていない。
- 一方で、法人数は増加。平均耕地面積も拡大しており、経営耕地面積10ha以上の農業経営体の面積シェアは初めて5割に到達。  
⇒ 法人化と規模拡大が進展。
- トップランナー(販売金額1,000万円以上)や、スーパートップランナー(同3,000万円以上)も増加。

#### 今後の方向性

- 農業者の減少が続く中で、地域農業の持続的な発展を図っていくためには、中小規模経営体や新規就農者等を含めた、多様な担い手の確保が必要。
- 担い手による更なる規模拡大が可能となるよう、
  - ・スマート農業の活用
  - ・担い手への農地の集積・集約化
  - ・農業生産基盤の整備 等
 による生産性の向上が必要。
- 担い手確保と生産性向上について、衛星データ等の最新技術も取り入れながら、更なる加速化を図っていく。